

Title	大阪大学大学院人間科学研究科紀要 第43巻 執筆者 紹介・編集後記
Author(s)	
Citation	大阪大学大学院人間科学研究科紀要. 2017, 43, p. 285-286
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/60582">https://hdl.handle.net/11094/60582</a>
rights	
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

## ◇執筆者紹介

橋高 彫斗	人間科学研究科	大学院生	(環境行動学)
三好恵真子	人間科学研究科	教授	(環境行動学)
松村 悠子	人間科学研究科	大学院生	(環境行動学)
李 哲	人間科学研究科	特任助教	(教育工学)
管生 聖子	人間科学研究科	助教	(臨床心理学)
安元 佐織	人間科学研究科	講師	(国際交流室)
Nadia SHAPKINA	カンザス州立大学	助教	(社会学)
岡田千あき	人間科学研究科	准教授	(生涯教育学)
近藤 博之	人間科学研究科	教授	(教育社会学)
佐藤 晴雄	日本大学	教授	(教育制度学)
寺町 晋哉	人間科学研究科	助教	(生涯教育学)
福岡まどか	人間科学研究科	教授	(人類学)
中川 敏	人間科学研究科	教授	(人類学)
中山 康雄	人間科学研究科	教授	(科学哲学)
Ariunaa ENKHTUR	人間科学研究科	大学院生	(共生教育論)
山本 ベバリーアン	人間科学研究科	教授	(共生教育論)
Nooshin GOHARIMEHR	人間科学研究科	大学院生	(共生教育論)
Don BYSOUTH	人間科学研究科	准教授	(共生教育論)
Mahboubeh RAKHSHANDEHROO	人間科学研究科	大学院生	(共生教育論)

## 編集後記

『大阪大学大学院人間科学研究科紀要』第43巻をお届けいたします。

2012年度・13年度にもわたしは編集委員を担当し、毎年「大学をめぐる情勢は激変しており」で編集後記を始めました。今年もまたそうせざるを得ない状況です。国立大学法人評価委員会による人文社会科学系の縮小に関する提言をはじめ、さまざまな荒波が大学を襲っています。

時代の波を受けて大学が変化していくことは必要なことでしょう。しかし、その変化の中において守らなければいけないこともあります。19世紀にJ・S・ミル（『大学教育について』）は、大学は「職業教育」の場ではないと宣言しました。もしかしたら、現代の大学はそのような場としても機能しなければいけないのかもしれない。しかし、技術的知識に光をあてて正しい方向に導く「一般教養教育（general culture）」が大学を大学たらしめているものだという事は、ミルの時代から変化しないはずだ。

ともあれ、今年度もまた紀要を無事に発刊できたことは、編集委員会として大変に嬉しいことです。

学問の府を守る者の自負に満ちた原稿を執筆された寄稿者の方々、そして編集・発行にご協力いただきました皆様に心より御礼を申し上げます。とりわけ、ほとんどの編集事務をお任せした、私の所属している人類学研究室の補佐員である丹生絵海子さんに感謝したいと思います。

(中川)

## 紀要編集委員

佐藤 眞一（行動学系）	大谷 順子（共生学系）
中澤 渉（教育学系）	○中川 敏（社会学・人間学系）

(○印 委員長)